

2021年3月期 第2四半期

決算説明資料

株式会社インターワークス（東証一部 6032）

2020年11月06日



1

2021年3月期 上期 業績概要

2

2021年3月期 セグメント別概況

3

2021年3月期 見通し

4

Appendix

1-1 2021年3月期 上期 業績概要

- ✓ 新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う経済活動の停滞の影響を受け、2Q後半以降にて緩やかな回復の兆候はあるものの、減収減益
- ✓ 持続的成長のための構造改革を推し進め販売管理費の大幅な削減を行い、損益影響の最小化に努める

(単位：百万円)

	2020年3月期 上期		2021年3月期 上期		増減額	前年 同期比
	実績	売上比	実績	売上比		
売上高	1,637	100.0%	726	100.0%	△ 910	44.4%
売上原価	562	34.3%	333	45.9%	△ 228	59.3%
売上総利益	1,075	65.7%	393	54.1%	△ 681	36.6%
販売費及び一般管理費	1,099	67.2%	746	102.7%	△ 353	67.8%
営業利益	△ 24	△ 1.5%	△ 353	△ 48.6%	△ 328	-
経常利益	△ 27	△ 1.7%	△ 328	△ 45.2%	△ 301	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	△ 41	△ 2.5%	△ 260	△ 35.8%	△ 218	-

1

2021年3月期 上期 業績概要

2

2021年3月期 セグメント別概況

3

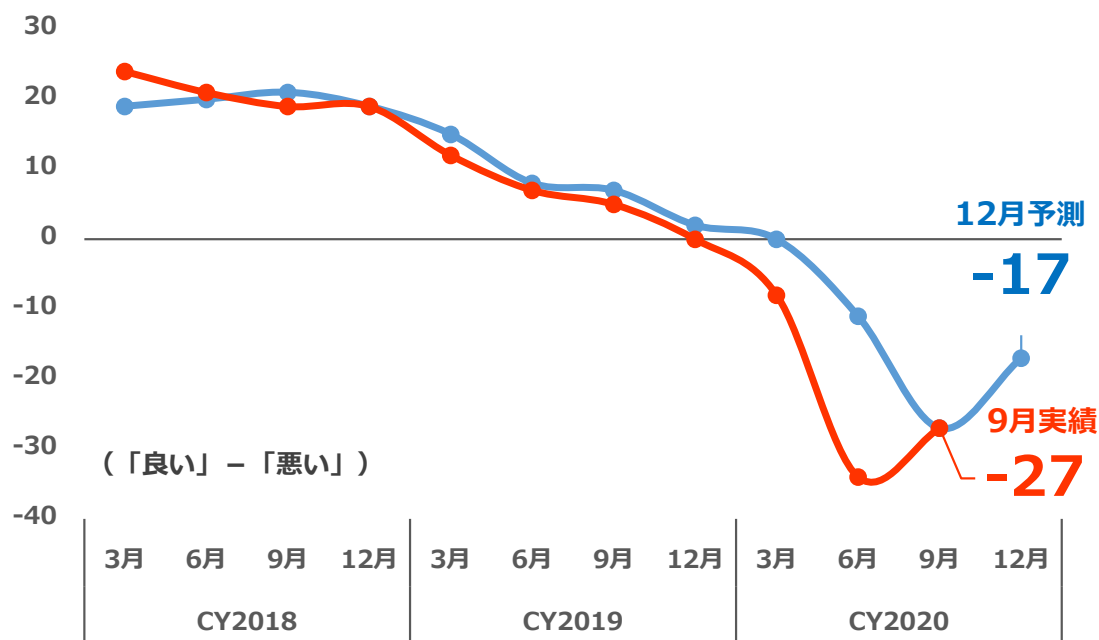
2021年3月期 見通し

4

Appendix

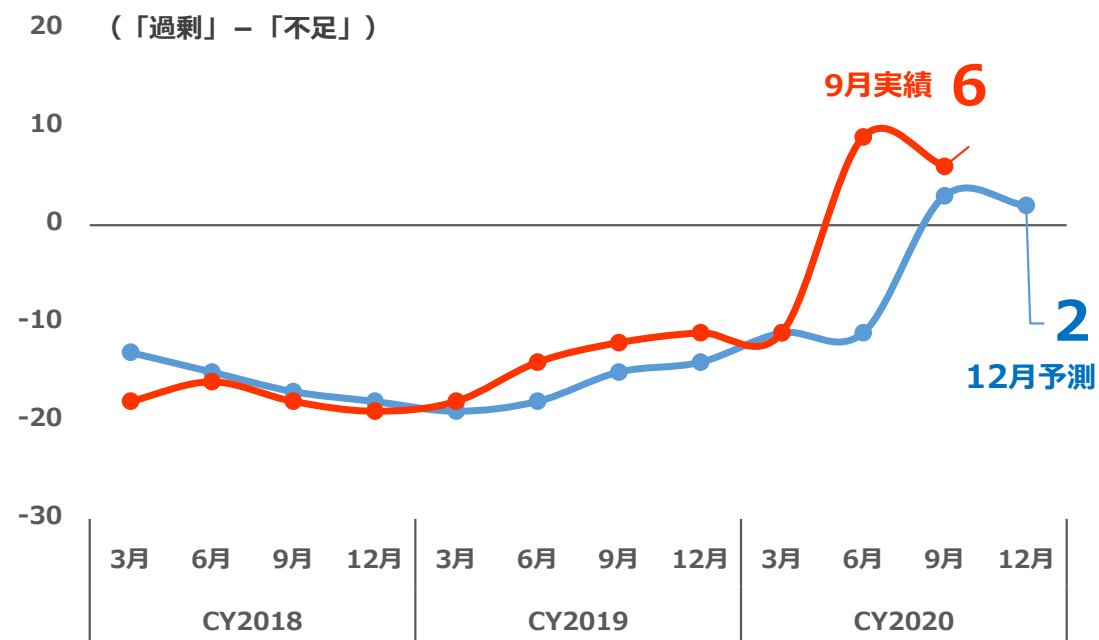
- ✓ 景況感は依然として低いものの、大幅に悪化した前回からは改善し12月は更に回復の予測
- ✓ 雇用人員においても過剰感が和らいできている

➤ 業況判断DI (大企業製造業)



回答企業の収益を中心とした、業況についての全般的な判断
 <選択肢> 「1. 良い」、「2. さほど良くない」、「3. 悪い」

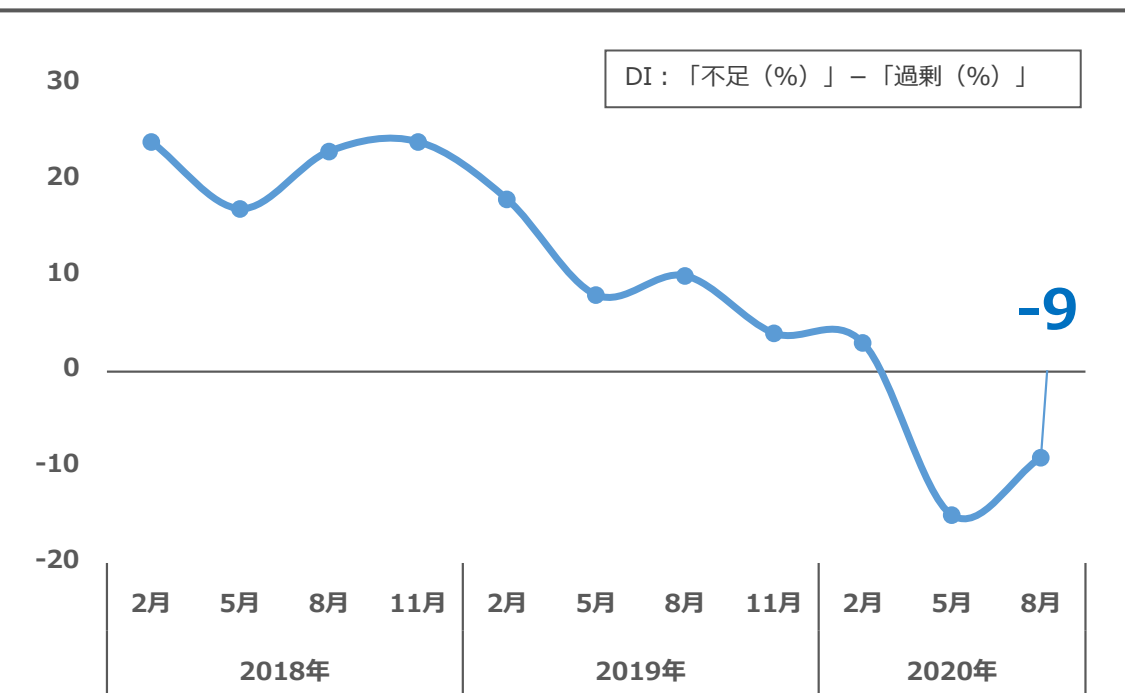
➤ 雇用人員判断DI (大企業製造業)



回答企業の雇用人員の過不足についての判断。
 <選択肢> 「1. 過剰」、「2. 適正」、「3. 不足」

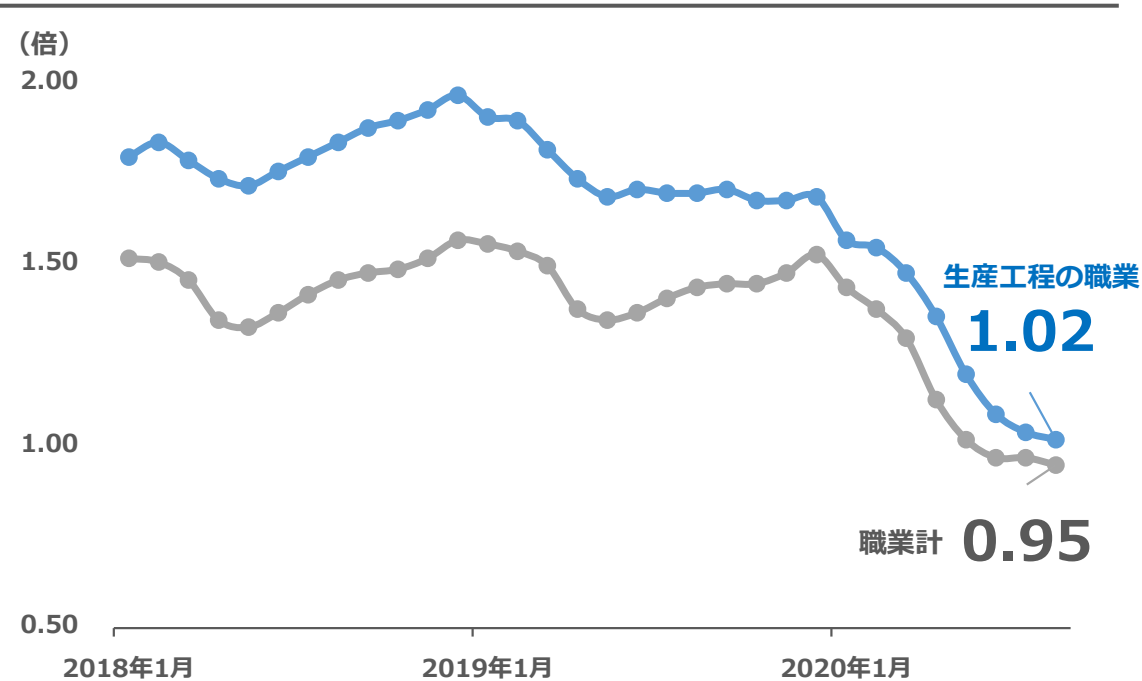
- ✓ 製造業における派遣労働者の過剰感も和らいできている
- ✓ 有効求人倍率は依然として低い水準にあるが、下げ幅は緩やかになってきている

製造業派遣労働者 過不足判断DI



出典：厚生労働省「労働経済動向調査」を元に当社作成

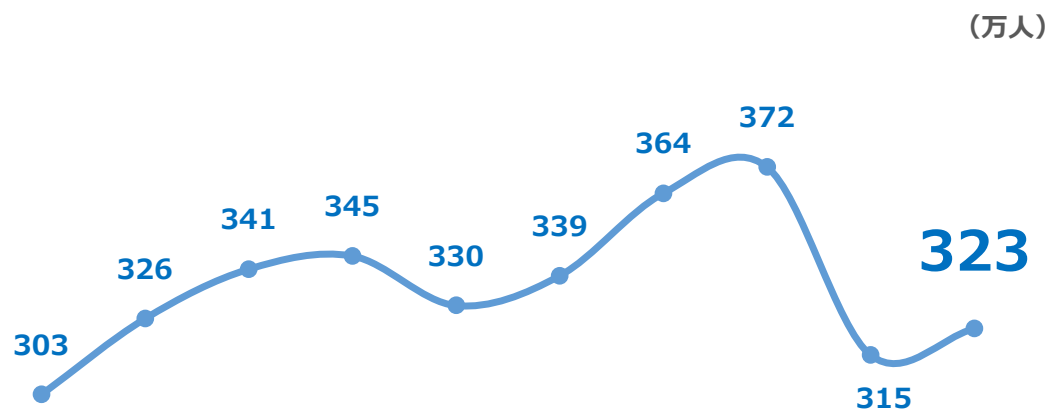
有効求人倍率



出典：厚生労働省「一般職業紹介状況 職業別労働市場関係指標（実数）」を元に当社作成

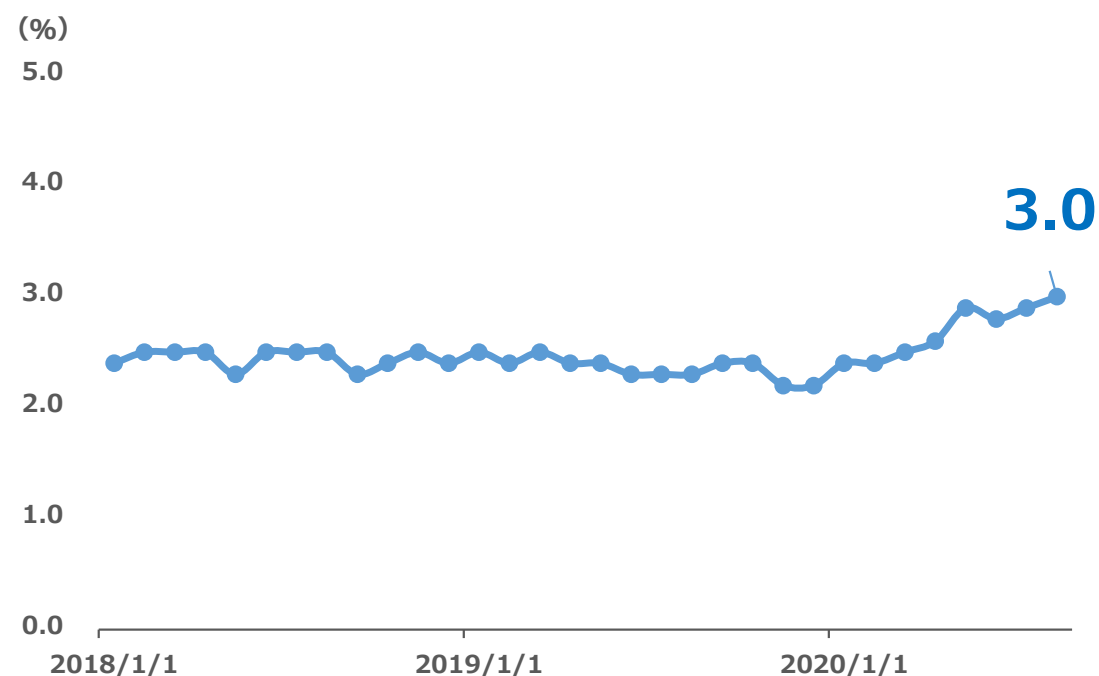
✓ 転職者数・完全失業率は上昇傾向にあり、人材ビジネスの果たす役割は大きい

➤ 転職者数



1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
2018年				2019年				2020年	

➤ 完全失業率 ※季節調整値



出典：総務省統計局「労働力調査」を元に当社作成

2-1 2021年3月期 上期 業績概要 (セグメント別)

✓ 全事業とも減収減益であり、特に主力のM&S事業においてコロナ影響が顕著であった

(単位：百万円)

	2020年3月期 上期		2021年3月期 上期		増減額	前年 同期比
	実績	構成比	実績	構成比		
連結売上高	1,637	100.0%	726	100.0%	△ 910	44.4%
M&S事業	713	43.6%	249	34.3%	△ 463	35.0%
人材紹介事業	495	30.2%	298	41.1%	△ 196	60.3%
採用支援事業	429	26.2%	178	24.6%	△ 250	41.6%
連結営業利益	△ 24	-	△ 353	-	△ 328	-
M&S事業	3	-	△ 269	-	△ 273	-
人材紹介事業	9	-	1	-	△ 8	16.0%
採用支援事業	△ 38	-	△ 85	-	△ 46	-

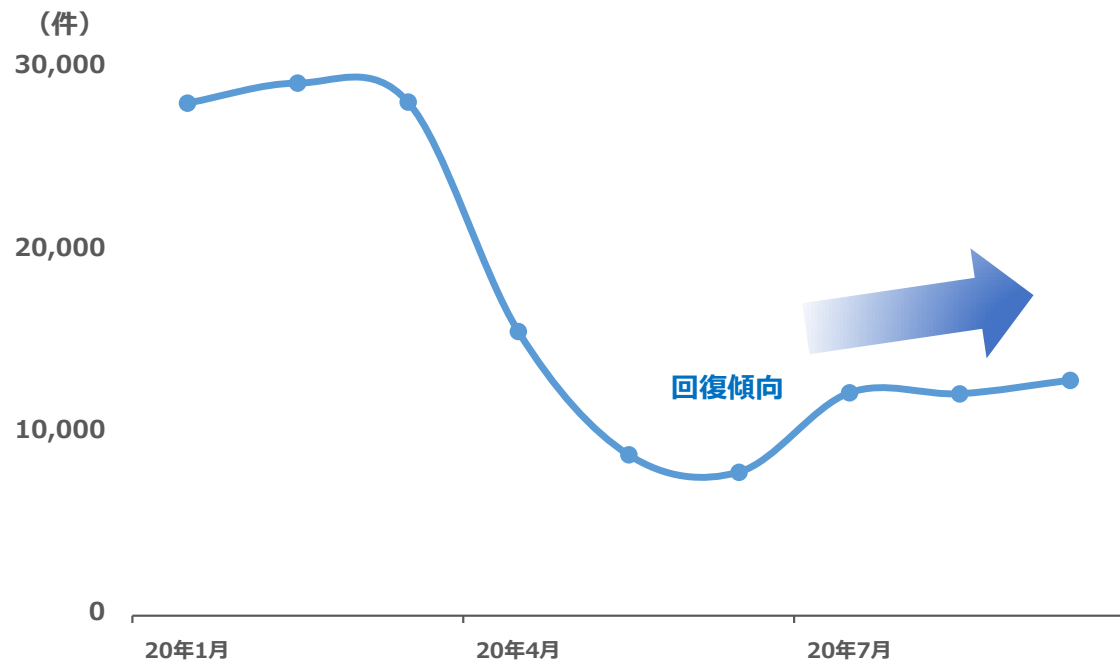
※M&S事業：「メディア&ソリューション事業」の略

※採用支援事業：子会社である日本データビジョン株式会社が展開

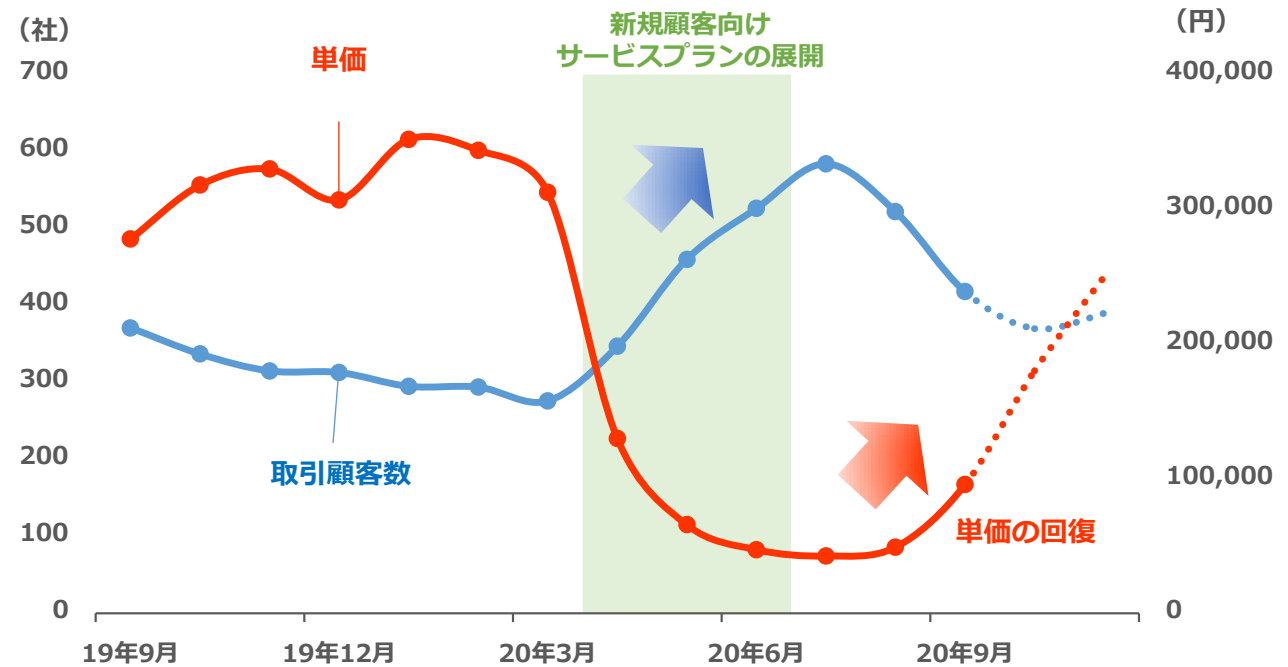
- ✓ 減収減益であるものの、市場回復の兆しがあり工場ワークスへの求人掲載件数は回復傾向
- ✓ 1Q・2Qにおいて、コロナ市況を踏まえた新規顧客向けサービスプランを展開し顧客層を拡大

単位：百万円		FY2019_上期	FY2020_上期	増減額	前年同期比
M&S事業	売上高	713	249	△ 463	35.0%
	営業利益	3	△ 269	△ 273	-

➤ 工場ワークス 求人掲載件数



➤ 工場ワークス 取引顧客数・単価

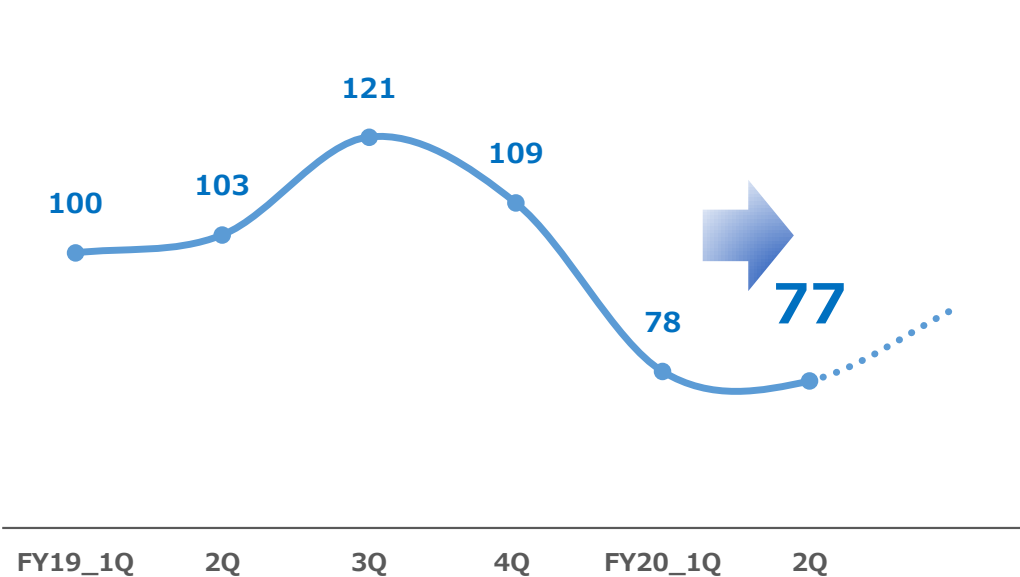


- ✓ コロナ影響による採用企業の選考オペレーションの長期化等に伴い減収減益
- ✓ コンサルタントのレベルUP施策の奏功によりQ当たりの生産性は回復傾向

単位：百万円		FY2019_上期	FY2020_上期	増減額	前年同期比
人材紹介事業	売上高	495	298	△ 196	60.3%
	営業利益	9	1	△ 8	16.0%

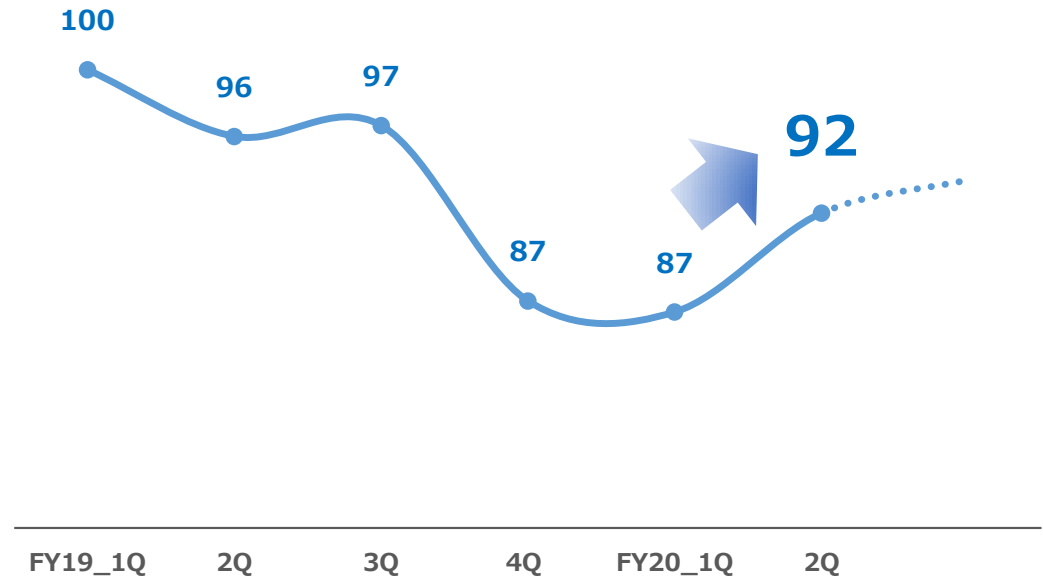
➤ コンサルタント1人あたり成約金額

(FY2019 1Qを100とした場合)



➤ 成約単価

(FY2019 1Qを100とした場合)



- ✓ 大型プロジェクト終了、コロナ影響による夏季インターン取り止め・後ろ倒しにより、減収減益
- ✓ 採用活動スキームの大幅な変化（オンライン化等）による新たな需要発生

単位：百万円		FY2019_上期	FY2020_上期	増減額	前年同期比
採用支援事業	売上高	429	178	△ 250	41.6%
	営業利益	△ 38	△ 85	△ 46	-

➤ 採用活動スキームの大幅な変化に対する取り組みについて


採用活動のオンライン化は不可避。下記のような事象に対するサポートサービスを提供し、需要を取り込む

面接・インターン事前準備

学生からWEBツールに関する問い合わせがきている

WEBインターンシップのリハーサルをやらなければ

社内協力者へのブリーフィングが終わっていない



WEBツールのURLを発行して学生に送付しなければ


面接官にもWEBツールのURLを面接日程と一緒に連絡しなければ

学生のキャンセル？
面接官に連絡して、システムも更新しなければ

面接・インターン当日

ブリーフィングをしたにも関わらず当日になってツールの使い方を聞いてくる面接官が多く、業務に支障が出る

接続トラブル発生時に面接官から学生へ連絡するのは、面接官の携帯に学生の電話番号（個人情報）が残るから問題だ



進行しながら学生の入室許可を押すのは難しい

参加者が少ない！？
欠席？
接続トラブル？
原因不明…

学生から問い合わせが来ているが、次の休憩まで対応できない

学生の反応が悪いが、画面の共有が上手くできているのか心配だ

M&S事業

- 過年度より開発を推進してきた新基盤（システムプラットフォーム）を順次リリース

→ セキュリティー強化、およびサービスの拡大・拡充、品質向上を通し今後の顧客拡大に繋がる機能を装着
※ 2021年度正式リリースとしてテスト運用を段階的に開始し、機能を高める

- 1Q・2Qにおいて回復・拡大した顧客層の定着に努めながら更なる深耕営業を推進

→ 市場回復に合わせ、顧客への提供価値を高めることで更なる単価回復および業績回復を狙う

人材紹介事業

- 成約件数の拡大を推進

→ コンサルタントのレベルUP施策の継続
成約単価は回復傾向にあるため、質を維持しつつ量を展開することで成約件数の拡大を狙う

採用支援事業

- コロナ禍に対応した「WEBリクルーティングサポートサービス」の拡充

→ 新卒採用のオンライン化に伴い新たに発生した需要に対するソリューションとして「WEBリクルーティングサポートサービス」を拡充する

1

2021年3月期 上期 業績概要

2

2021年3月期 セグメント別概況

3

2021年3月期 見通し

4

Appendix

3 2021年3月期 見通し

2021年3月期の業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大が業績に与える影響を合理的に算定することが困難であったことから、未定としておりました。新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言は5月下旬に解除され、国内の経済活動は段階的に再開されているものの、依然として先行きは不透明な状況で推移しており、業績に与える影響の度合いを精緻に予測することは困難なことから、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、通期業績予想につきましては、レンジでの公表をいたします。

- ✓ 景況感の回復を受け2Q後半以降のM&S事業が急伸し、営業業績は拡大の見通し
- ✓ 下期において、一定のボラティリティは残存するものの、業績の改善を見込む

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期		通期 予想
		上期 実績	下期 予想	
売上高	3,147	726	1,094 ~ 1,354	1,820 ~ 2,080
営業利益	124	△ 353	△ 47 ~ 133	△ 400 ~ △ 220
経常利益	122	△ 328	△ 22 ~ 158	△ 350 ~ △ 170
親会社株主に帰属する四半期純利益	45	△ 260	△ 110 ~ 130	△ 370 ~ △ 130

1

2021年3月期 上期 業績概要

2

2021年3月期 セグメント別概況

3

2021年3月期 見通し

4

Appendix

✓ 自己資本比率93.6%と財務基盤は安定

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)		当第2四半期連結会計年度 (2020年9月30日)		増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
資産	2,771	100.0%	2,227	100.0%	△ 543
流動資産	2,083	75.2%	1,382	66.7%	△ 700
現金及び預金	1,592	57.5%	1,170	55.4%	△ 422
固定資産	687	24.8%	844	33.3%	156
負債	250	9.0%	142	8.2%	△ 108
流動負債	245	8.9%	136	7.9%	△ 109
固定負債	5	0.2%	6	0.2%	0
純資産	2,520	91.0%	2,084	91.8%	△ 435
自己資本比率	-	91.0%	-	93.6%	+ 2.6pt

「ISO/IEC 27001:2013」の認証取得

- ✓ 今後の既存および新規サービスの拡充を見据え、情報セキュリティマネジメントシステムに関する国際規格「ISO/IEC 27001:2013」の認証を取得



この資料は、株式会社インターワークス（以下、当社）の現状をご理解頂くことを目的として、2020年11月06日現在において当社が取得可能な情報に基づき作成したものです。

本資料に記載の内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成したものであり、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更する可能性があります。また、本資料にはいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測、及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招きうる不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場環境、金利、通貨・為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来にリスクイベントが発生した場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

以上を踏まえ、投資を行う際は、投資家の皆様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。